

T O P I C S

兼六園桜酵母が化粧品素材
として実用化

—兼六園桜酵母が肌細胞を活性化—

化学食品部 山崎裕也 (やまざき ゆうや)
y-yamazaki@irii.jp専門：微生物学、応用微生物学、食品化学
一言：県産酵母を活用した製品開発を
支援します。

工業試験場は、これまでに県内の名所旧跡の花などから発酵力のある酵母の分離に取り組み、これら酵母を利用した清酒やパンの製品化を支援してきました。今回さらに、分離した酵母を化粧品など食品以外の分野へ展開するための研究開発に取り組みました。

化粧品に求められる機能としては、肌細胞の活性化作用(美肌効果)等があげられます。そこで、兼六園の桜の花から分離した酵母(兼六園桜酵母)の抽出エキスを用いて肌細胞の増殖促進効果を評価したところ、エキス濃度の増大に伴い、肌細胞が増殖することが判明しました(図1)。このことから本エキスが肌の活性を高める化粧品素材として利用できることが明らかとなりました。この

成果は共同研究先の㈱テクノブル(大阪市)と特許出願を行い、同社にて化粧品素材として実用化されました。さらに、この化粧品素材は㈱ルバンシュ(能美市)より兼六園桜酵母配合のシートマスクとして商品化されました(図2)。今後も県産酵母を活用した製品開発を支援していきますので、お気軽にご相談ください。

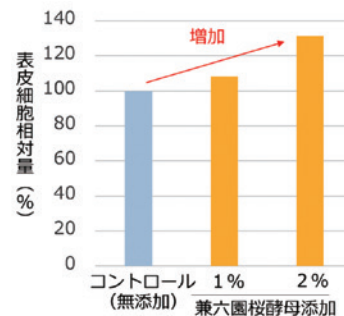


図1 兼六園桜酵母の肌細胞増殖促進効果

図2 兼六園桜酵母
配合のシートマスク